

授業科目名	乳児保育 I	担当教員名	森下 真由美
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分 等	保育の対象の理解に関する科目
必修・選択/単位数	必修 / 2単位 (30時間)	授業方法/担当形態	講義 / 単独
開講学年/学期	1年 前期 (1-2期) / 年間開講数 1講座	特記事項	※実務経験のある教員等による授業 保育士として長年にわたる実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。
授業の概要及び全体目標	新生児～二歳児の発育や機能及び、乳児の成長発達の特徴や課題を理解し、未満児保育の目標とねらい及び、保育内容における実践等の知識や技術を習得する。		
到達目標	(1)乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割等について理解する。 (2)保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題 について理解する。 (3)3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する。 (4)乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。※「乳児保育」とは、3歳未満児を念頭においた保育を示す。		
テキスト	「資料でわかる乳児の保育新時代」乳児保育研究会編著(ひとなる書房)		
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」(株式会社チャイルド本社) 『新訂 見る・考える・創り出す 乳児保育』(萌文書林)		
成績評価の方法	平常点 (受講態度等) 20% 理解度チェック 50% レポート 30%		
授業外 (事前・事後) 学習の方法、オフィスアワー等	事前・事後学習については授業中に指示します。 質問等は毎時間の受講カードによってフィードバックを行う他、授業終了後に研究室で受け付けます。		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	乳児保育の意義・目的と役割 “乳児”“子ども”とは 乳児所保育における乳児保育	(1)	
第2回	乳児保育における養護と教育を考えるにあたって乳児の発達を理解する 0歳児前半の発達の特徴及びこの時期の保育で大切にしたいこと	(3)	
第3回	乳児保育における養護と教育を考えるにあたって乳児の発達を理解する 0歳児後半の発達の特徴及びこの時期の保育で大切にしたいこと	(3)	
第4回	乳児保育における養護と教育を考えるにあたって乳児の発達を理解する 誕生から1歳まで…歩行の始まり・発語…DVD参照 1歳児の発達の特徴及びこの時期の保育で大切にしたいこと	(3)	
第5回	乳児保育における養護と教育を考えるにあたって乳児の発達を理解する 2歳児の発達の特徴及びこの時期の保育で大切にしたいこと	(3)	
第6回	乳児保育の発達の特徴を確認 乳児保育の内容と方法 保育園の一日 (DVD参照) 基本的な生活の内容と方法 理解度チェック①	(3)	
第7回	三歳未満児の発育・発達を踏まえた保育における配慮 乳児にとっての大人という存在 担当制	(3)	
第8回	三歳児未満児の生活と環境 乳児保育の内容と方法 人形を使ったオムツ替え、授乳の実際	(3)	
第9回	三歳児未満児の発育・発達を踏まえた保育における配慮 保育所における安全面の配慮事項 (資料参照)	(3)	
第10回	三歳児未満児の発育・発達を踏まえた保育における配慮 三歳未満児の生活と環境 特別な配慮を要する子ども	(3)	
第11回	乳児期における連携・協同 乳・幼児期の遊びの分類について 理解度チェック②	(3)	
第12回	乳児保育における連携・共同 保育士のあり方…保護者にとっての保育士 職員集団の中の保育士	(4)	
第13回	乳児保育の歴史の変遷及び役割について学ぶ 乳児保育の歩み 乳児保育の一般化	(1)	
第14回	乳児保育の現状と課題 子ども・子育て支援新制度	(1),(2)	
第15回	乳児保育の現状と課題 改訂保育指針と乳児保育 まとめ	(1),(2)	